

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 どんこの花		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	昨年に引き続き、事業所への満足度は100%と高かった。少人数で個々の子どもと保護者へのニーズに即した支援を提供している結果と捉えている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当制を取り、継続した一貫性のある対応を行うこと</li> <li>・土曜日に親子通所の日を設け、保護者との定期的な面談や子どもの状況の共有を行っていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の育成とワークライフバランスとの両立として、支援を共有しやすくするため、発達段階に応じた教材等のマニュアル化、視覚化を行っていききたい</li> </ul>
2	子どもへの適切な支援の提供、保護者への説明での良好な回答率が高かった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時に説明と同意を個別に丁寧に行っている</li> <li>・日々の活動の様子を写真や動画、コメントで随時共有している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対応、支援を行う職員のスキルアップを図る</li> <li>・児発管と一緒に面談に職員が入れるような体制を整えている</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者懇談会を今年度試行したが、まだ機会の提供としては十分といえず、保護者同士の横のつながりをつくることができていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会時に子どもやきょうだい児への対応を行う要員の確保が困難</li> <li>・平日の開催では、保育園と事業所が稼働しておりスペースの確保が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祝日の開催、平日の開催と多くの保護者が参加しやすい機会の提供を検討する</li> <li>・卒園児の保護者も含めた対象の拡大を行っていききたい</li> </ul>
2	各種マニュアル類や計画の保護者への周知が不十分である	ホームページへの掲載を今年度は実施したが、保護者への周知が不十分であった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時や面談時にマニュアルの紹介、設置場所や掲載についてのアナウンスを行う</li> <li>・保護者との非常時連絡の訓練を計画、実施する</li> </ul>